

# 工事情報を多言語発信へ

## 電子掲示板でイメージを一変

### ウィルタアンケート専用・基本例文集等付加

洗濯干し情報など居住者に対する改修工事の施工情報伝達はホワイトボード利用がこれまで主流だった。チラシの整理整頓が行き届かず、期限が既に切れたままだったり、一部チラシが破れていたりと情報品質はもとより美観的にも問題が多かった。それが、ウィルク(本社東京)の電子掲示板「WILK」の登場で工事現場のイメージが様変わりした。

### モニターの大形化でタワマン対応

左の上下の写真を見れば、工事情報チラシの「電子掲示板」がいかに施工現場の美観向上に寄与しているか一目瞭然だ。美観はもとより居住者にとっては電子掲示板の工事情報を自分のスマートフォンやタブレット、PCでも閲覧できるようにするため正確にタイムリーに確認できるようになった。

施工業者にとっては、福岡と全国各地で採用されている。ホワイトボード使用と比べると現場事務所スタッフの負担が低減はよりスピーディーな

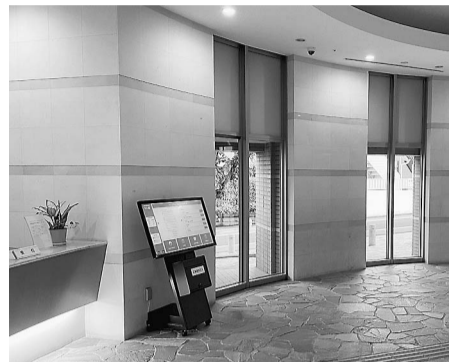
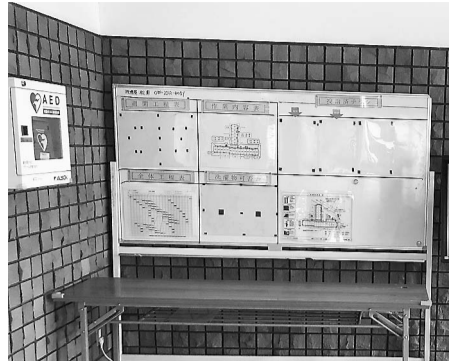
洗濯干し情報など居住者に対する改修工事の施工情報伝達はホワイトボード利用がこれまで主流だった。チラシの整理整頓が行き届かず、期限が既に切れたままだったり、一部チラシが破れていたりと情報品質はもとより美観的にも問題が多かった。それが、ウィルク(本社東京)の電子掲示板「WILK」の登場で工事現場のイメージが様変わりした。

国の言語で伝えられなにかとの相談が多く寄せられたことから開発が進められている。

二つ目がアンケート専用機能が追加された。例えば外壁色の決定の際、従来は何通りかのカラーシミュレーションパスをエンタラントに張り出し、回収箱を置いてアンケート調査を実施するのがポピュラーだった。これも電子掲示板にはLINE発信機能と連携したシステムを備えていたが、アンケート専用のタブレットをモニターに併設、固定化させることで利便性と回収率を高める。

三つ目は工事情報内容の基本例文集のラインナップ化だ。現場事務所スタッフの労力軽減を目指したもので、車の移動の依頼等、工期中にお知らせする必要がある40〜50の文書の観点から積極的に採用を進めている企業も多く、今後の普及拡大に向け、ウィルクでは様々な機能の開発を今後も進め

国は英語・中国語・韓国語等への多言語対応だ。居住者の多国籍化が進み施工業者から洗濯物干し情報、設備改修なら断水や排水規制情報をその



改修工事の情報伝達は従来のホワイトボード利用(上)から電子掲示板(下)に大きく変わろうとしている



75インチモニターの子掲示板の開発が進む

電子掲示板をペーパーレス化によるSDGsの観点から積極的に採用を進めている企業も多く、今後の普及拡大に向け、ウィルクでは様々な機能の開発を今後も進め